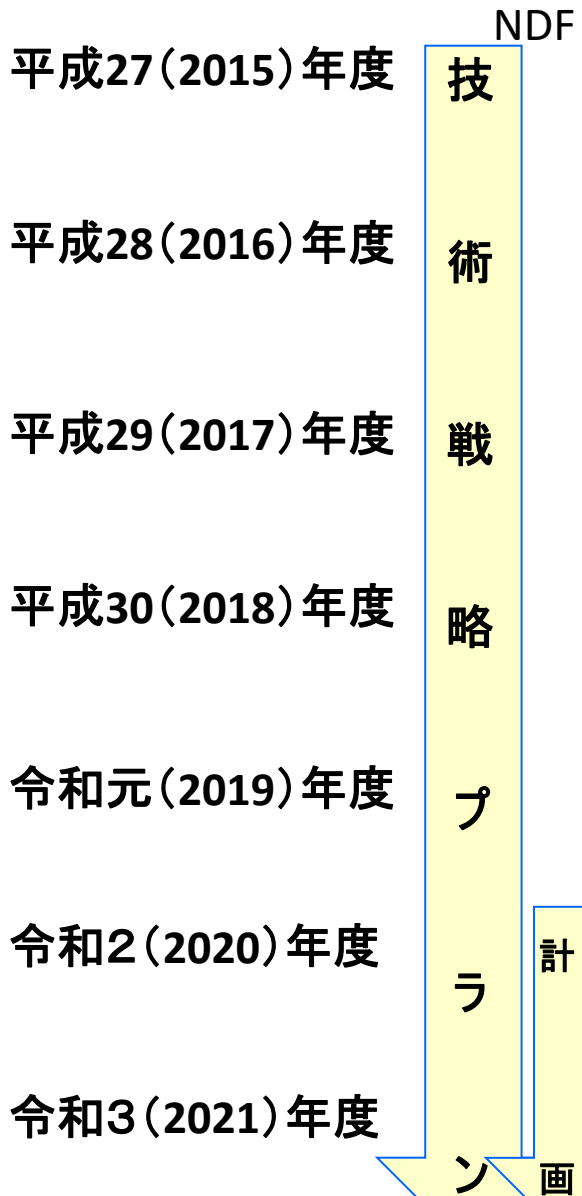


1 F 廃炉ニーズの分析・共有について

令和4年2月25日

NDF 原子力損害賠償・廃炉等支援機構
JAEA 福島研究開発部門 福島研究開発拠点
廃炉環境国際共同研究センター



平成27(2015)年度

平成28(2016)年度

平成29(2017)年度

平成30(2018)年度

令和元(2019)年度

令和2(2020)年度

令和3(2021)年度

第1回～第3回 廃炉研究開発連携会議

- ・「戦略プラン」における技術戦略の考え方を基本に、ニーズ、研究開発のポテンシャル、アイデアを共有して全体として最大限の成果を得ることが重要。
- ・目標達成のためのニーズ志向に基づく基礎研究という視点も重要。
- ・JAEA 及び大学等の共同運営による「廃炉基盤研究プラットフォーム」(以下、プラットフォームという。)は、**研究マップの作成等**を通じ、斬新なアイデアや様々なシーズを拾い上げていくことで外部からの広く新たな知見を結集し、難問への解決策が導き出されうる。このため、プラットフォームに NDF としても協力し、また東京電力も実用化の視点から意見していく必要。
- ・「研究開発ニーズ・シーズに関する双方向の情報発信・共有と基盤構築」「研究開発ニーズ・シーズのマッチングに関する取組」「廃炉に関する基礎・基盤研究マップの考え方」が議論された。

第4回～第6回 廃炉研究開発連携会議

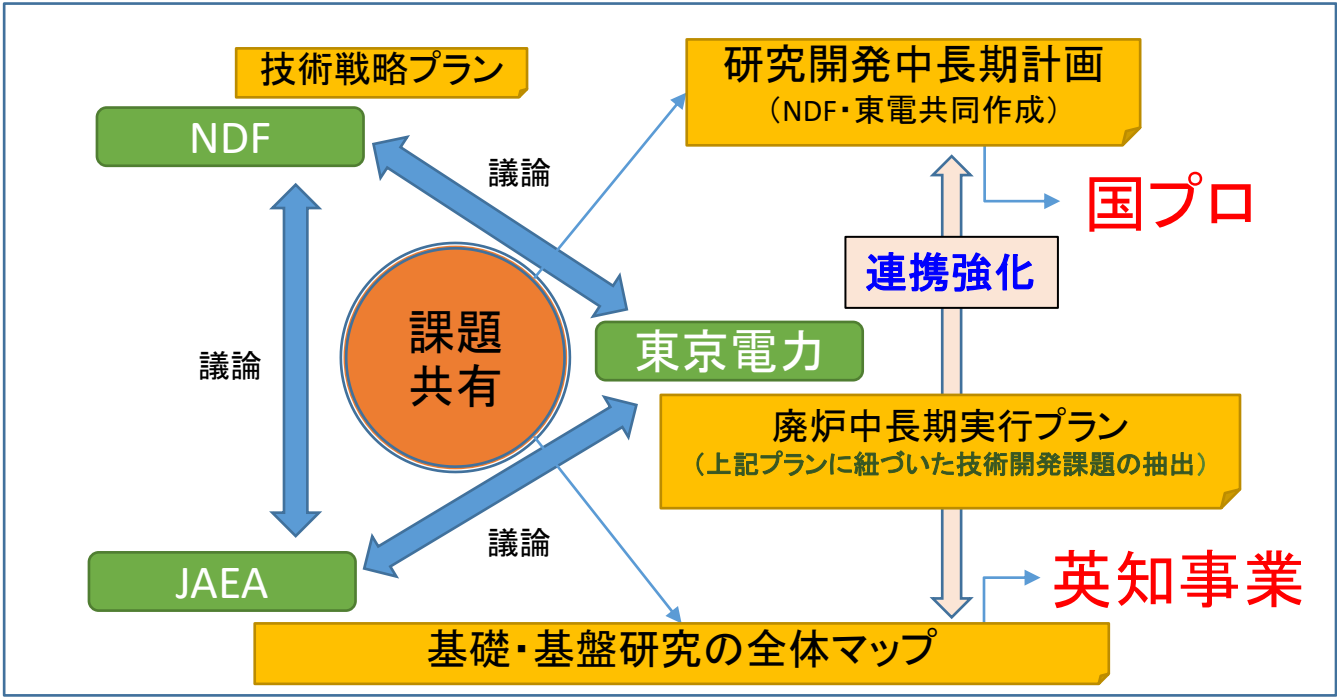
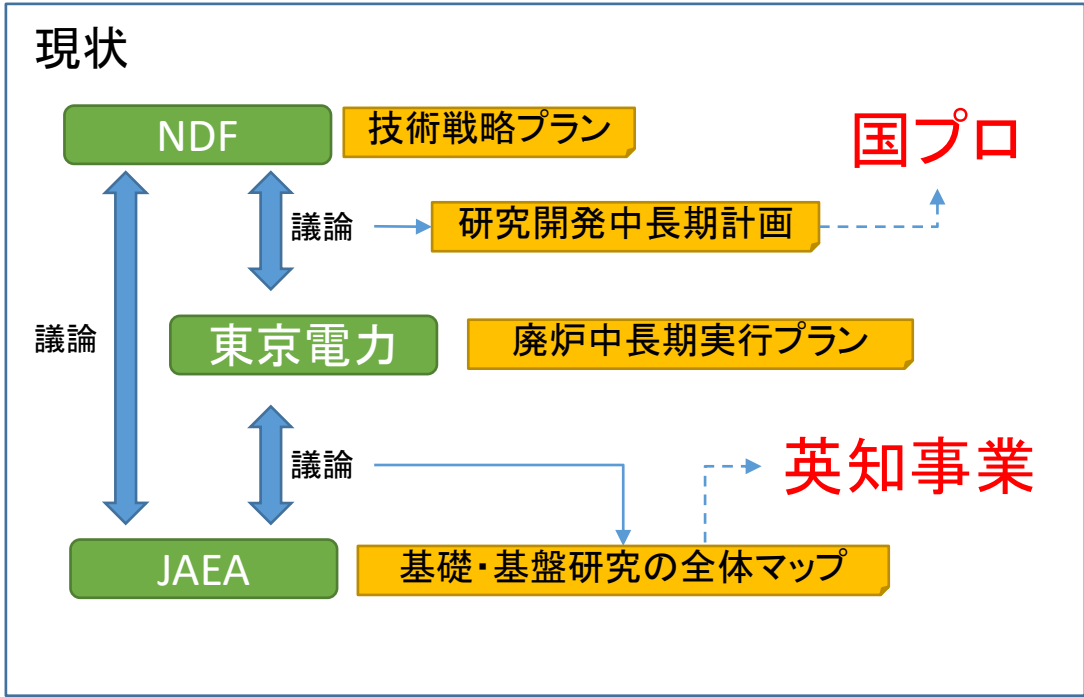
- ・人材育成等の議論
- ・NDF「6つの重要研究開発課題」「廃炉研究開発人材育成のための技術マップ試案」発表(第6回)
- ・JAEA「廃炉に関する基礎・基盤研究の課題リスト(案)」作成

第7回～第8回 廃炉研究開発連携会議

- ・新体制(CLADS補助金)での英知事業開始

JAEA

東京電力



◆ 東京電力、NDF、JAEAで議論して、10年を超える**長期の課題も含めて分析・共有できる土台**を築く
 ◆ その土台を元に、**研究開発中長期計画、基礎・基盤研究の全体マップ**に反映する

課題共有の効果

- 研究開発課題が**俯瞰かつ網羅的**に整理される
- 研究開発の**計画の土台**となる
- 各々の機関の**役割が明確化**される

1F廃炉のための研究開発の**実効性**が高まる